記者発表資料

がんばろう！東北

国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所
湯沢河川国道事務所
平成 23 年 6 月 30 日 15 時発表

平成２３年６月洪水の概要（雄物川）

６月２３日～２４日の梅雨前線に伴う大雨により、秋田県内各地で浸水等の被害が発生しました。
雄物川の神宮寺水位観測所（大仙市神宮寺）では観測史上最高水位を記録（観測：S18～）しました。

６月２３日～２４日の大雨により、秋田県内の各地で浸水被害等が発生しました。６月３０日１５時現在で、雄物川流域の雨量・水位、被害状況、国土交通省の対応状況をとりまとめました。

※本資料に掲載の数値等は速報値のため、今後の精査等により変更となる場合があります。

１．概況

［雨量］

６月２３日から２４日の梅雨前線に伴う大雨により、雄物川流域の雨量観測所で総雨量２００㎜、時間雨量で４０㎜を超える雨を観測。

［水位］

大仙市神宮寺の神宮寺水位観測所（雄物川）では、観測史上最高水位（S18～観測開始）を記録。はん濫危険水位（レベル４）を 16 時間超過した。

大仙市長野の長野水位観測所（玉川）では、観測史上第２位の水位（S32～観測開始）。

秋田市雄和の椿川水位観測所（雄物川）では、観測史上第４位の水位（S11～観測開始）。

２．浸水被害

・雄物川の外水氾濫による住宅浸水戸数は 53 戸（速報値）。

・雄物川流域市町村全体での住宅被害は、全壊 1 戸、一部損壊 1 戸、床上浸水 115 戸、床下浸水 255 戸。（平成 23 年 6 月 29 日 16 時 00 分現在　秋田県災害警戒部）

３．国土交通省の対応

秋田河川国道事務所および湯沢河川国道事務所では、災害対策支部（非常体制）を設置し、警戒にあたりました。

（１）水防活動

・６地区で延べ約９０人　活動

（２）災害対策車

・大仙市角間川地区等に、排水ポンプ車３台、照明車２台を出動。内水排除作業等を実施。

（３）リエゾン（災害対策現地情報連絡員）の派遣

大仙市との協定に基づき、湯沢河川国道事務所からリエゾン２名を大仙市災害対策本部に派遣。湯沢河川国道事務所と大仙市災害対策本部の情報をリエゾンを通じて相互共有。

大仙市からの要請により市内の内水被害軽減のため、排水ポンプ車・照明車の手配及び排水実施箇所の調整等を実施。

（４）予警報の発表回数

・洪水予報

秋田地方気象台と秋田河川国道事務所および湯沢河川国道事務所の共同で、雄物川と玉川の洪水予報を１９回発表。

・水防警報

雄物川、玉川、皆瀬川に水防警報を延べ４６回発表。

※詳細は、別添資料を参照願います。

発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲支局・湯沢支局

問い合わせ先		
国土交通省　東北地方整備局		
秋田河川国道事務所	ＴＥＬ　０１８－８２３－４１６７	
副所長（河川担当）	高橋　淳	（内線２０４）
調査第一課長	天野　厚毅	（内線３５１）
湯沢河川国道事務所	ＴＥＬ　０１８３－７３－３１７４	
副所長（河川担当）	阿部　富雄	（内線２０４）
調査第一課長	菊田　友弥	（内線３５１）

※本資料に掲載の数値等は速報値です。
今後の精査等により変更する場合があります。

－写　　真－
平成23年6月25日(土)11時頃撮影
雄物川の状況

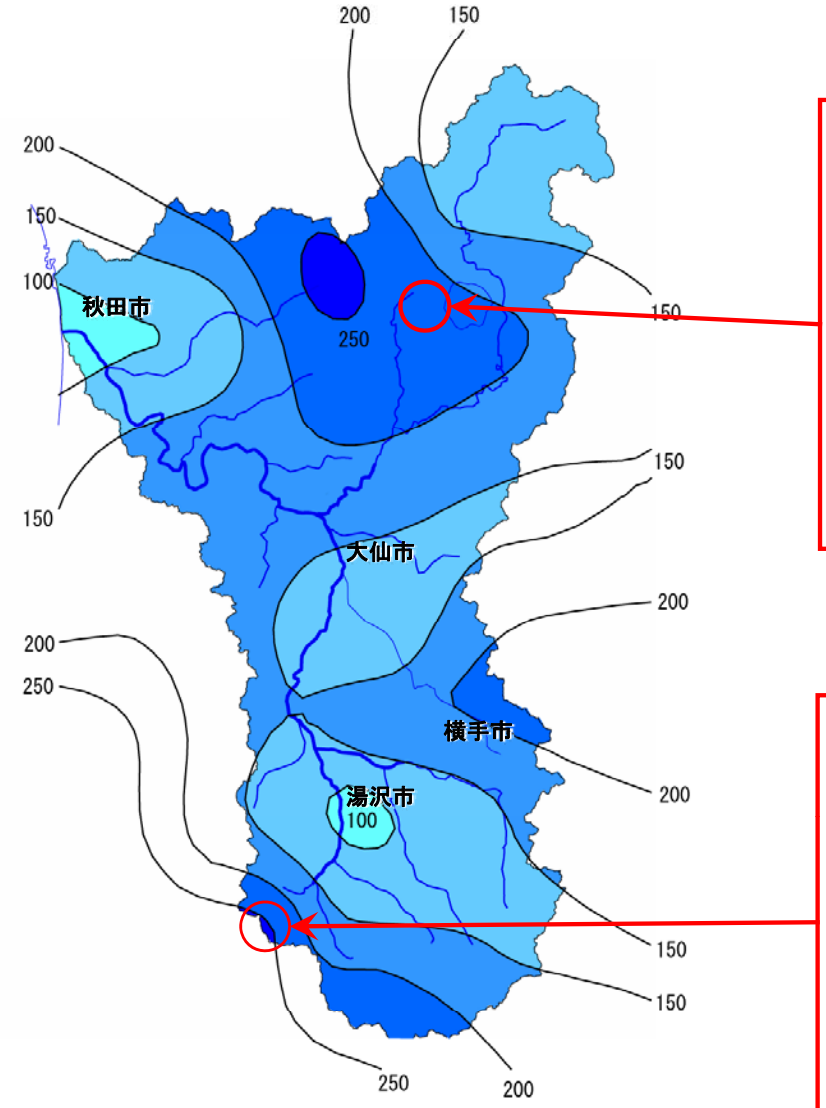
平成23年6月洪水
雄物川洪水概要(速報版)



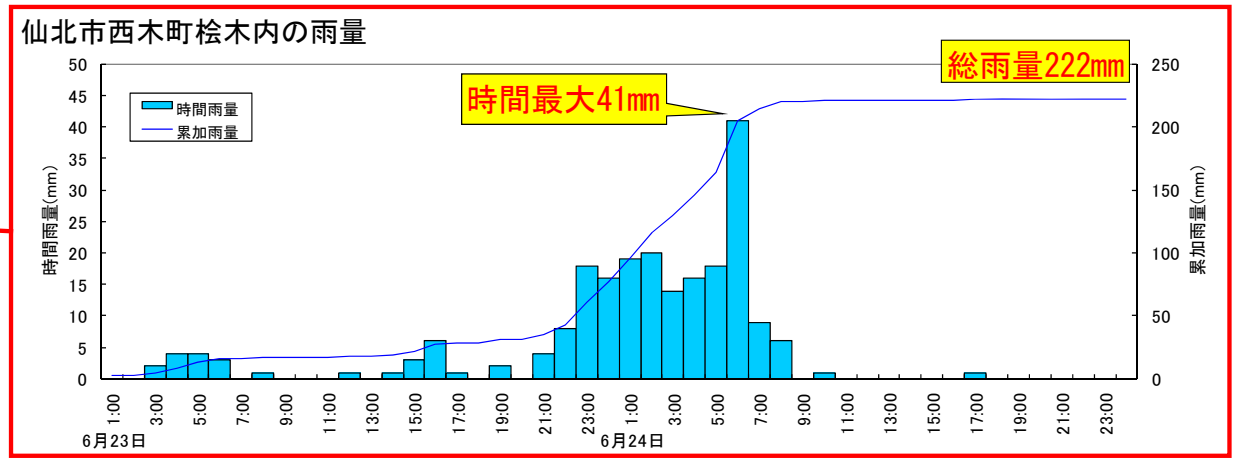
平成23年6月30日15時時点
秋田河川国道事務所・湯沢河川国道事務所

１．概況【雨の状況】

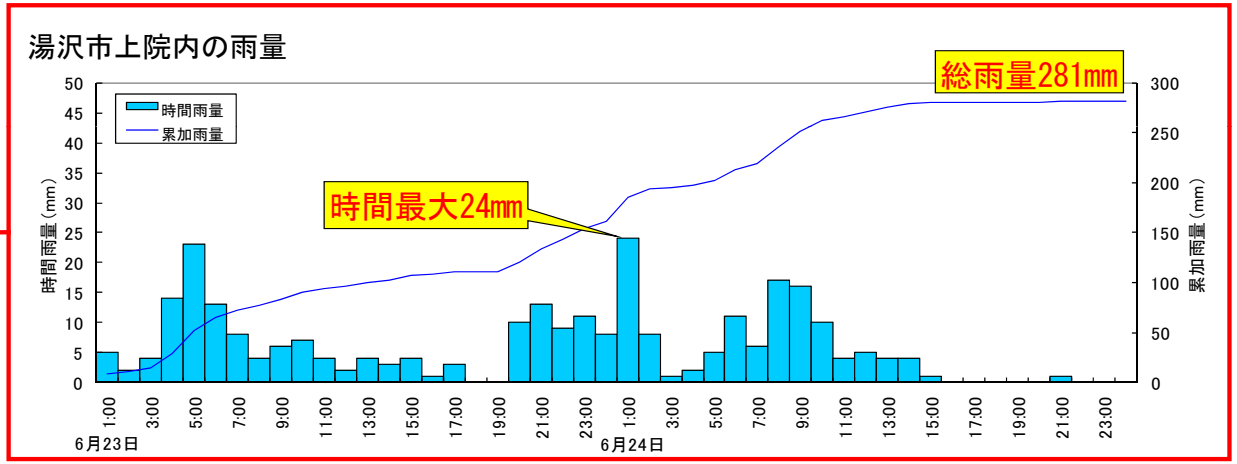
６月２３日から２４日の梅雨前線に伴う大雨により、雄物川流域の雨量観測所で総雨量２００㎜、時間雨量で４０㎜を超える雨を観測。



下桧木内雨量観測所



上院内雨量観測所



2. 概況【水位の状況】

神宮寺で観測史上(観測開始：S18年)最高水位を観測、長野で第２位、椿川で第４位となった（いずれも暫定値での順位）。

▼今回の洪水とこれまでの観測最高との比較

水系名	河川名	観測所名 観測開始年	基準水位（m）		平成23年6月洪水（暫定値） 最高水位（m）	 生起時刻	観測開始以降の最高水位 最高水位（m）	 生起時刻
雄物川	雄物川	椿　川 S11(1936)～	はん濫危険水位 避難判断水位	8.20 8.00	8.34	H23/6/24　23:00	9.07	S22/8/3　18:00
		神宮寺 S18(1943)～	はん濫危険水位 避難判断水位	5.70 5.40	7.74	H23/6/24　12:00	7.25	S30/6/26　9:00
		大曲橋 S26(1951)～	はん濫危険水位 避難判断水位	5.80 5.40	5.17	H23/6/24　12:00	5.82	S30/6/26　7:00
	玉川	長　野 S32(1957)～	はん濫危険水位 避難判断水位	4.00 3.60	4.46	H23/6/24　9:00	4.79	H19/9/17　23:00

2. 水防活動

水系名	河川名	水防活動地先	活動内容	活動人員	備考
雄物川	雄物川	右岸14.0km （椿川）	積土のう工　L=２０ｍ	４名 ・水防団	秋田市
雄物川	雄物川	左岸48.8k （北野目）	月輪工法　２箇所 （漏水箇所）	８名 ・水防団 ・建設業者	大仙市 西仙北 第４分団
雄物川	雄物川	左岸89.2k （鵜の巣）	内水排除作業	約２０名 ・水防団 ・建設業者	羽後町 水防団
雄物川	皆瀬川	右岸5.2k （柳原）	木流し工　L=３０ｍ （河岸洗掘による散策路の流出防止として）	約５０名 ・水防団 ・警察 ・地元役場 ・地域住民	横手市 十文字 第１分団
雄物川	横手川	左岸0.2k （横手川）	シート張工 （流水による堤防法面の損傷防止）	４名 ・施工業者	工事箇所
雄物川	横手川	右岸0.4k （横手川）	シート張工 （流水による堤防法面の損傷防止）	４名 ・施工業者	工事箇所



雄物川左岸48.8k（大仙市北野目）作業状況



雄物川左岸89.2k（羽後町鵜巣）作業状況



皆瀬川右岸5.2k（横手市柳原）作業状況

3. 災害対策車【排水ポンプ車による内水排除作業状況】

排水作業位置図











排水ポンプ車：30t/min水中ﾓｰﾀｰ式
排水時間　：6/24 7:00
～6/24 20:00＝13時間稼働
排水量　：18,720m3



排水ポンプ車：60t/min水中ﾓｰﾀｰ式
排水時間　：6/24 9:10
～6/25 1:40＝16.5時間稼働
排水量　：59,400m3

4. リエゾンの派遣【大仙市における活動状況】

東北地方整備局では大仙市と「災害時の情報交換に関する協定」を締結しており、今回の災害にあたって湯沢河川国道事務所からリエゾン（災害対策現地情報連絡員）２名を大仙市災害対策本部に派遣しました。

活動内容

➢大仙市の情報（被害状況・避難勧告等）を収集し、湯沢河川国道事務所災害対策支部に報告

➢湯沢河川国道事務所災害対策支部からの情報（水防警報・防災情報・水位予測等）を大仙市災害対策本部にリエゾンを通じて直接提供。

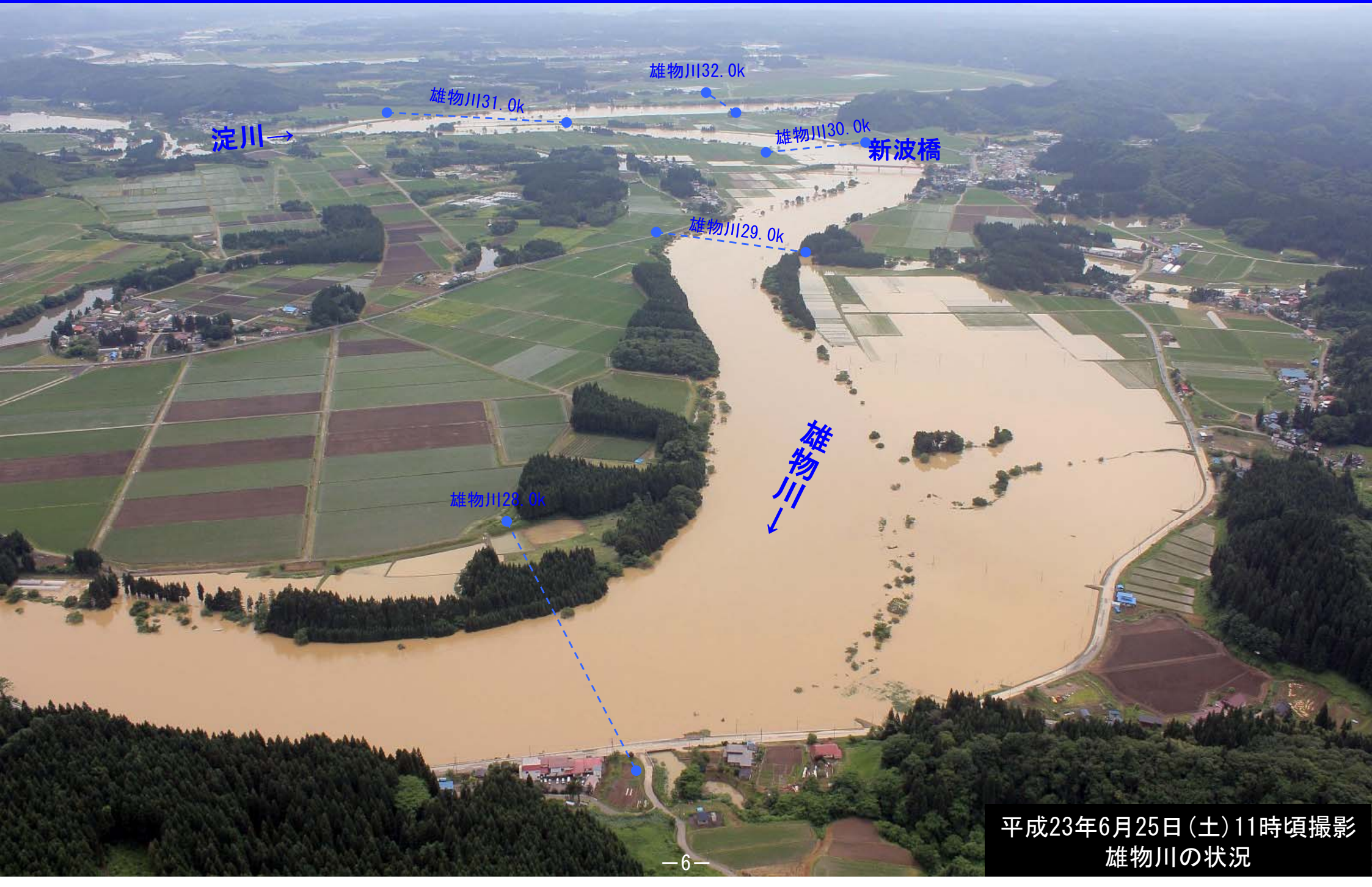
➢災害対策用機械のニーズ把握と調整
・今回の災害では、大仙市からの要請により市内の内水被害軽減のため、排水ポンプ車・照明車の手配及び排水実施箇所の調整等を実施

➢その他、相互の情報共有および調整



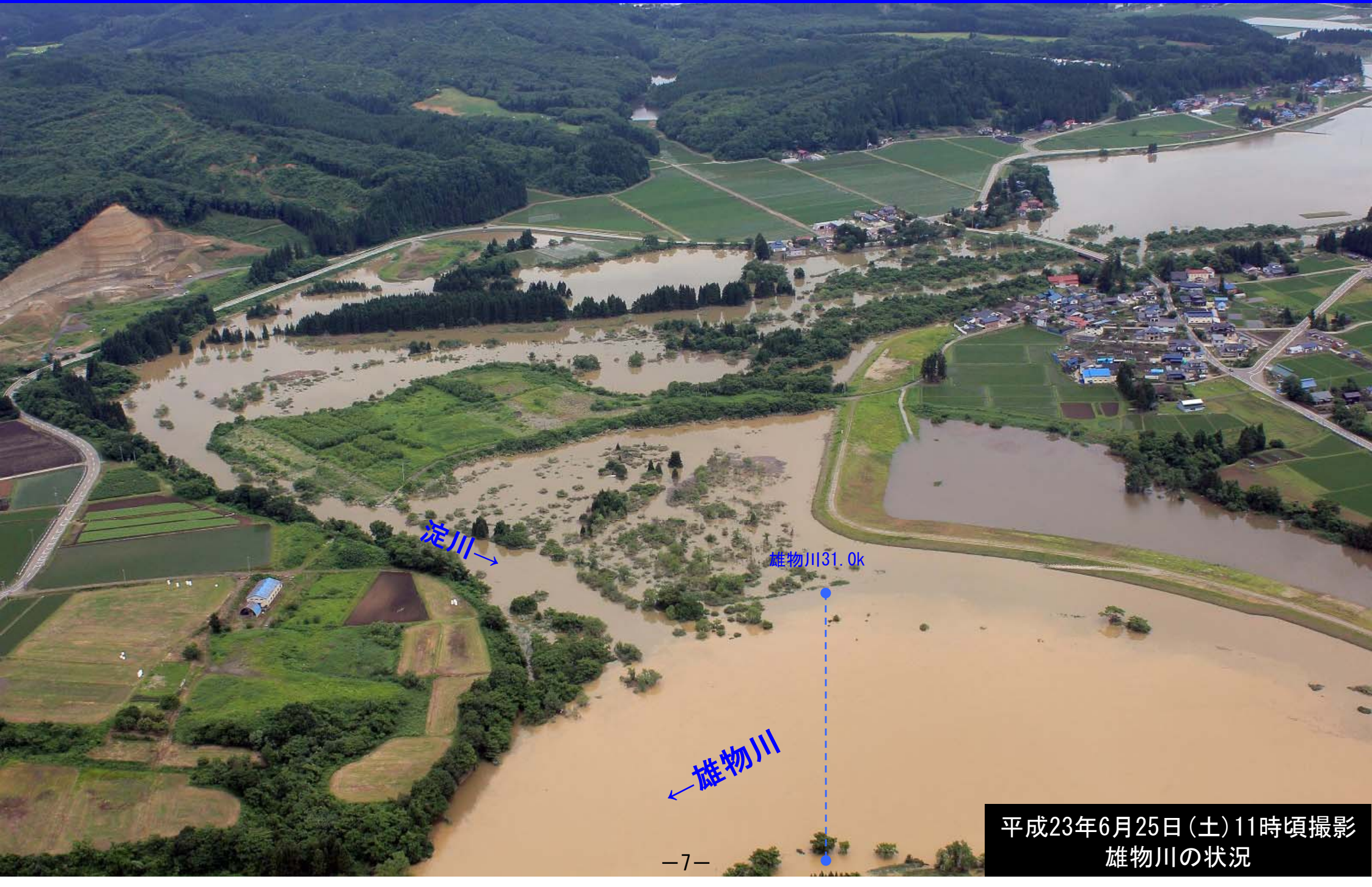
大仙市からの要請によるポンプ車による排水作業

雄物川の状況



平成23年6月25日(土)11時頃撮影
雄物川の状況

雄物川の状況



平成23年6月25日(土)11時頃撮影
雄物川の状況

雄物川の状況



平成23年6月25日(土)11時頃撮影
雄物川の状況

雄物川の状況



平成23年6月25日(土)11時頃撮影
雄物川の状況

雄物川の状況



平成23年6月25日（土）11時頃撮影
雄物川の状況